



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社 浅沼組 上場取引所 東
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)浅沼 健一
 問合せ先責任者 (役職名)本社経理部長 (氏名)八木 良道 (TEL) 06(6585)5500
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	30,304	2.3	1,363	△19.6	1,384	△10.7	942	△58.0
29年3月期第1四半期	29,632	△12.8	1,696	6.3	1,549	△2.5	2,245	49.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,328百万円(△44.9%) 29年3月期第1四半期 2,410百万円(25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.25	—
29年3月期第1四半期	29.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	96,435	30,560	31.6
29年3月期	104,395	30,071	28.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 30,449百万円 29年3月期 29,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,700	9.3	2,750	△21.0	2,670	△15.8	1,720	△56.0	20.53
通期	140,700	6.0	6,700	0.5	6,520	2.1	4,420	△39.4	52.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	85,086,293株	29年3月期	85,086,293株
30年3月期1Q	1,310,923株	29年3月期	1,309,647株
30年3月期1Q	83,775,294株	29年3月期1Q	76,082,345株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. 補足情報	P. 9
四半期個別受注の概況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、引き続き雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかし、米国新政権の動向、欧州の政治状況、中東・東アジアの地政学的リスクなど、海外経済の不確実性が高まり、不透明な状況は続いております。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共建設投資は底堅く、民間建設投資については、企業収益の改善に伴う設備投資や住宅建設の持ち直しなど、一定の水準は維持しております。しかしながら、足下の受注状況は、慢性的な技能労働者不足や今後の建設資材の価格動向などに注視する必要があり、また将来的な建設需要への懸念もあって、競争は厳しさを増してきております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は298億1千4百万円で、前年同期比41.1%の減少、売上高は303億4百万円で前年同期比2.3%の増加、売上総利益は30億3千8百万円で前年同期比2.3%の減少となりました。

営業利益につきましては13億6千3百万円（前年同期比19.6%の減少）となりました。

経常利益につきましては13億8千4百万円（前年同期比10.7%の減少）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては9億4千2百万円（前年同期比58.0%の減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は271億9千3百万円(前年同期比36.5%減)、売上高は249億9百万円(前年同期比10.4%増)となり、セグメント利益は22億8千9百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

(土 木)

受注高は26億2千万円(前年同期比66.4%減)、売上高は50億9千7百万円(前年同期比24.9%減)となり、セグメント利益は6億5千7百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

また、「その他」の事業については、売上高2億9千7百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益4千1百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.3%減少し、810億6千1百万円となりました。これは、工事代金の回収により現金預金が5億7千9百万円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が84億6千1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、153億7千3百万円となりました。これは、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が4億3千4百万円増加したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し、964億3千5百万円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.2%減少し、558億5千2百万円となりました。これは、未成工事受入金が36億1千2百万円増加したものの、支払手形・工事未払金等が76億6千8百万円減少、未払金が34億9千7百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、100億2千1百万円となりました。これは、長期借入金が8億2千5百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.4%減少し、658億7千4百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、305億6千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が1億4百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が2億9千3百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績及び足元の状況を鑑み、平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、現時点で平成29年5月10日付当社「平成29年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	39,720	40,300
受取手形・完成工事未収入金等	42,561	34,099
未成工事支出金	2,609	2,840
その他のたな卸資産	127	86
未収入金	2,259	1,755
その他	2,193	2,035
貸倒引当金	△59	△56
流動資産合計	89,411	81,061
固定資産		
有形固定資産	4,715	4,705
無形固定資産	397	405
投資その他の資産		
その他	10,541	10,932
貸倒引当金	△669	△669
投資その他の資産合計	9,871	10,262
固定資産合計	14,984	15,373
資産合計	104,395	96,435
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	31,885	24,217
短期借入金	8,717	8,737
未払金	8,805	5,307
未払法人税等	755	94
未成工事受入金	7,593	11,206
完成工事補償引当金	450	462
工事損失引当金	253	184
その他	5,152	5,642
流動負債合計	63,613	55,852
固定負債		
長期借入金	6,124	5,298
退職給付に係る負債	4,376	4,412
その他	210	310
固定負債合計	10,710	10,021
負債合計	74,324	65,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,614	9,614
資本剰余金	2,165	2,166
利益剰余金	16,393	16,498
自己株式	△142	△143
株主資本合計	28,032	28,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,714	3,008
退職給付に係る調整累計額	△784	△695
その他の包括利益累計額合計	1,930	2,312
非支配株主持分	108	111
純資産合計	30,071	30,560
負債純資産合計	104,395	96,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高		
完成工事高	29,342	30,007
その他の事業売上高	289	297
売上高合計	29,632	30,304
売上原価		
完成工事原価	26,324	27,060
その他の事業売上原価	197	206
売上原価合計	26,521	27,266
売上総利益		
完成工事総利益	3,017	2,947
その他の事業総利益	92	90
売上総利益	3,110	3,038
販売費及び一般管理費	1,414	1,674
営業利益	1,696	1,363
営業外収益		
受取利息	30	25
受取配当金	60	62
持分法による投資利益	11	10
その他	5	16
営業外収益合計	109	113
営業外費用		
支払利息	105	65
為替差損	124	—
その他	26	27
営業外費用合計	256	92
経常利益	1,549	1,384
特別利益		
会員権退会益	—	0
その他	0	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	9	—
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益	1,539	1,384
法人税、住民税及び事業税	147	41
法人税等調整額	△859	397
法人税等合計	△711	438
四半期純利益	2,250	945
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,245	942

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,250	945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△351	293
退職給付に係る調整額	511	88
その他の包括利益合計	159	382
四半期包括利益	2,410	1,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,404	1,324
非支配株主に係る四半期包括利益	5	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
30年3月期第1四半期累計期間	29,814百万円	△41.1%
29年3月期第1四半期累計期間	50,625	45.9

(注) %表示は、前年同四半期比増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分		平成29年3月期 第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		平成30年3月期 第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		比較増減		
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	
建設事業	建築	官庁	13,244	26.2	6,224	20.9	△7,020	△53.0
		民間	29,573	58.4	20,969	70.3	△8,604	△29.1
		計	42,817	84.6	27,193	91.2	△15,624	△36.5
	土木	官庁	4,069	8.0	1,801	6.0	△2,268	△55.7
		民間	3,737	7.4	819	2.8	△2,917	△78.1
		計	7,807	15.4	2,620	8.8	△5,186	△66.4
	合計	官庁	17,314	34.2	8,025	26.9	△9,288	△53.6
		民間	33,310	65.8	21,789	73.1	△11,521	△34.6
		計	50,625	100	29,814	100	△20,810	△41.1

② 個別受注予想

	受注高	
30年3月期予想	125,000百万円	△18.4%
29年3月期実績	153,096	9.4

(注) %表示は、前年同期比増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

当第1四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比41.1%減の298億1千4百万円となりました。前年同期の受注が多かった反動と前年の通期実績も1,530億円強であったのに比べ、当期の受注予想を1,250億円としていることから、各部門の構成分野全てで受注額が減少しております。